

平成18年度

NPOまちづくり交流会

活動報告会

日時 平成19年2月23日（金曜日）13:30～15:50
会場 総合福祉センター ひまわり館

1. 近江八幡市市民音楽連盟（木村敏子代表）

第25回市民音楽祭を11月25日（土）に文化会館大ホールで開催、14団体300人が演奏に参加、大成功に終わる。少年少女合唱団、女性合唱団、混声合唱団など、合唱で8団体、その他ヴァスバンド、フルート、ヴァイオリン、ギター、大正琴等の団体が参加。これからも市民の音楽文化向上のため頑張って参りたい。



2. 白鳥川の景観を良くする会（吉田栄治代表）

市民の散歩道として親しまれ、景観的にも重要な白鳥川が、雑草で覆われて大変見苦しく、ゴミの不法投棄も目立っている。そういう状況から昨年2月に会を立ち上げ、丁度一年間を経過し、合計19回の作業で、参加者も538名となり、ゴミの回収も約5tに及び、桜の植樹も1kmの区間に115本植える事が出来た。今後も全長5kmの区間を対象にこの活動を続けたい。



3. シニアネットワーク・ネチズン八幡（小林欣子代表）

ITの恩恵を高齢者や障害者にも等しく受けてもらえる環境づくりを目指して、2001年11月に設立した。市民共生センターを拠点に50歳以上の方が会員となり運営している。ネチズンの意味合いは、シチズンとネットワークの合成語。県立八幡養護学校には毎月隔週でパソコンの指導を行っており、又共生センターではマンツーマンでの指導もしている。



4. NPO法人保育所あいアイランド（土田理事長）

ー地域の中で世代を超えたみんなの居場所づくりー

子育て支援を世代間の交流・助け合いを通じて
コミュニテイビジネスの手法を通じて実施し、
併せて地域の活性化を図る。従来の行政の施策
は、働きながら子育てする母親を対象にしてい
るが、実際には子育てする専業主婦にこそ問題
があり、育児についてストレスを貯めている。
母親の息抜き出来る居場所を、シニア世代との
交流の場を提供する事により解決してゆく。



5. NPO法人日野川を見守る会（森田理事長）

2006年3月から5ヵ年計画で『多自然化の
森づくり』に協力、植樹（1000本）の手伝い、
下草刈、堆肥づくり、ゴミ広い活動を実施して
いる。日野川流域の近江八幡・野洲の地域住民
94人が参加した『日野川みらい会議』の人達で
今後の日野川改修について意見を交換したり、
魚や水環境調査、自然観察会などを実施している。



6. NPO法人秀次倶楽部（高木理事長）

琵琶の演奏で秀次公の生涯を語ることで、広く
多くの方に知ってもらう機会にしたいと企画。
現在40人の会員で秀次公の顕彰活動をしてい
る。次代を担う子供達に秀次公の事を知っても
らうと共に、近江八幡の自然環境や歴史・文化
全般の良さを伝えて行きたいという思い。
7月の秀次公の命日前後にはこの琵琶の語りを
市民の皆さんに披露したい。西願寺の金森昭憲
さんに作曲と演奏を依頼している。



7. 近江八幡おやこ劇場（川村運営委員長）

おやこ劇場は親と子が生の舞台を鑑賞する事で、情緒豊かな子供を育成するという目的で作られた団体で、全国組織で35年前からあり、近江八幡も15年の歴史がある。年に4回の例会で、プロの演劇舞台を鑑賞するほか、キャンプ・料理・工作など異世代の交流もしている。今回会の認知度を高める目的で、人の輪・心の輪・感動の輪をテーマに、5回シリーズで伝えるプログラムを持った。



8. コーラス みずぐき（丸本小百合氏）

当グループは岡山小学校 PTA コーラスとして発足し28年を迎え、現在は岡山公民館文化サークルとして活動しています。コーラスを通じて社会に貢献したいという思いから、老人施設や病院への慰問コンサートなどを行っている。去年はハワイにも行き、現地の本願寺別院や日系人病院への慰問コンサートを開き、喜んでもらった。今後も各種の施設訪問で合唱を通じて慰問してゆきたい。



9. NPO 法人ヴォーリス精神継承委員会（大野るり子氏）

近江兄弟社学園の創立者であるウィリアムヴォーリス氏の数々の偉業を伝えるパネルを現在ハイド記念館に常設しているが、より多くの人々に伝える為、今回展示パネルの全国行脚を企画した。ヴォーリス氏の生い立ちから、1905年2月2日に初めて来幡されて以降の伝道活動、メンソレータムの事業、建築設計活動など幅広い活動を知ってもらい、その精神と功績を広く称えたいと願っている。



- ◆ 助成金交付団体の発表内容は以上の通り。
- ◆ 他に一般市民活動団体として、7団体から活動紹介を頂く（内容省略）